
俺の日常の小ネタ

Lion

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺の日常の小ネタ

【Nコード】

N0398Z

【作者名】

Lion

【あらすじ】

俺の日常を抜粋したもの

全て実際にあったこと

連載のもちよつと書いたけど無理ゲーだからやめました

バトル系の小説は難しかった

ちなみに「俺」は高校生男児です

（前書き）

ながく遠い道程の先に未来がある

重い話はないから気軽に読んでね

友人S 宅にて

友人K

「なにやってんの？」

友人H

「将棋だけど」

友人K

「衝撃は全然できないんだよな」

友人H & 俺

「!？」

友人K

「いや将棋って言おうとした」

友人H

「そこ噛むなよwww」

学校帰りのバス待ち状態

友人T

「今日は一斉下校だから人多いな」

俺

「ああ、そうだな」

友人T

「これは数少ない席をめぐる戦い、、席ヶ原の戦いになるぞ、、

」

俺

「うまいこと行ってんじゃねーよw」

友人M

「お茶買ってくる」

しばらくして、、

友人M

「間違えて（自販機の）コーラのボタン押しちゃった！」

俺

「逆にどうやったら間違えんだよ、、」

友人H 宅にて

俺

「そこにある童話のビデオのタイトルでカッコいいやつ考えてみて」

友人H

「てことはお前はもう思い付いたってことか」

俺

「うん」

友人H

「じゃあ先に言ってみて」

俺

「3匹のこぶたとこれからの地球環境問題について」

友人H

「こぶたになにがわかるんだよ」

期末テスト

俺

「英語はもう捨てた 赤点とるかもしれん」
(英語超苦手w)

友人R

「少しは頑張れよ」

俺

「だってあれだぜ？ 難しいを和訳する問いで
難しい、、難しいってハードだよな」

HEAD (ヘッド:頭)

俺

「つてことがあつたんだよ」

友人R

「difficultだろ」

俺

「そもそもhardすら書けてないっていつ」

（後書き）

これからも気が向けば書いていくと思います

続編にご期待ください

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0398z/>

俺の日常の小ネタ

2011年12月1日17時54分発行